

# 数字で見る経済

スーパーリサーチャー「イノっち」が  
大阪市24区を斬る



井上智之(いのうえ さとし)

1970年生まれA型。某シンクタンクで関西の産業振興に関する調査をしていたが、縁あって大阪都市経済調査会へ。俯瞰的な分析を徹底するクールさと「いつかは独立したい」というアツイ野心を併せ持つが、泥酔すると昭和歌謡で突然踊り出す奇怪な一面も。

## その8 ▶ 大正区 動く橋？ ～渡船場が最も多い区～

今回は大阪市大正区を訪問してきました。大阪湾に面し、三方を木津川、尻無川、岩崎運河に囲まれているため、水運の便がよく、製鉄、造船など重工業が立地し、臨海工業地帯として発展してきました。大正区を取り巻く河川には、新造船や工場へ物資を輸送する大型船などが通行するため、架橋が困難であったことや、通勤通学などの移動需要があったことなどから、大阪市が「動く橋」として渡船を無料で運航し、歩行者などへ移動手段を提供してきました。

現在、大阪市は8カ所で渡船を運航していますが、そのうち7カ所が大正区にあります(図表1)。渡船には歩行者と自転車が乗船可能で、通勤通学、買い物、観光など、さまざまな目的で利用されています。

2004年度における大正区での渡船の利用者総数は約163万人(1日あたりの利用者数は4477人)ですが、利用者は減少傾向にあります(図表2)。その主な原因として2つ考えることができます。第1に、少子化による通学者の減少です。大正区、及び渡船で結ばれている隣接3区(港区、西成区、住之江区)の人口は過去5年間に2～5%減少していますが、高校通学者を含む15歳～19歳人口は10%以上減少しています(図表3)。第2に、産業構造転換に伴う事業所従業員数減少によ

る通勤者の減少です。大正区では重工業の大規模工場が閉鎖されるなど、特に製造業の従業員数が大きく減少しています。渡船で結ばれている隣接3区でも従業員数は減少していますが、製造業の落ち込みは特に大正区で顕著となっています(図表3)。

このように利用者が落ち込む中、大阪市では、地域住民に渡船場を再認識してもらうため、また観光目的など幅広く利用してもらうための広報活動の一環としてパンフレット「渡船場マップ」を発行しています(渡船場で入手可能)。こうした取り組みにより、大正区の観光客が増加し、飲食や購買などの消費が活発になることが期待されます。大正区は埋立地が多いため平地が多く、渡船を利用する人の90%が自転車を利用し、毎日約4000台の自転車が渡船場を行き来しています。また、幹線道路には自転車通行帯が整備されています。こうした特徴を活かして、例えば渡船場周辺で待ち時間に自転車をメンテナンスするサービス事業や、大正駅付近にレンタサイクルの拠点を設け、渡船を活用したサイクリングコースを開発して観光客を増加させる事業など、自転車関連のビジネスチャンスがあるかもしれません(図表2)。ちなみに私は「渡船場マップ」を手に、自転車で「大正区役所→②往

復→③→⑦→⑧→⑥→平尾商店街(昼食)→⑤→④→区役所(図表1)」というルートを4時間半で走破しました(祝日に実行。昼食時間を含む)。

【図表2】渡船の利用者数

	2004年度 利用者総数 (人)	2000年～ 2004年 変化率(%)	2004年度 1日あたり 利用者数(人)	2004年度 自転車 利用率(%)
①天保山渡船場 (港区⇄此花区)	307037	21.7	844	59.8
②葦兵衛渡船場 (大正区⇄港区)	518894	-6.7	1426	94.1
③千歳渡船場 (大正区⇄大正区)	274102	1.2	753	91.8
④落合上渡船場 (大正区⇄西成区)	189137	30.0	520	85.1
⑤落合下渡船場 (大正区⇄西成区)	125056	2.5	344	91.4
⑥千本松渡船場 (大正区⇄西成区)	398788	-15.7	1096	94.2
⑦船町渡船場 (大正区⇄大正区)	71209	-27.7	196	50.8
⑧木津川渡船場 (大正区⇄住之江区)	52172	-10.7	144	86.6
総計【①～⑧】	1936395	-2.0	5321	85.5
大正区計【②～⑧】	1629358	-5.5	4477	90.3

資料:大阪市建設局、港湾局より作成

※1:往復する場合は往路、復路が別々に計算される

※2:1日あたり利用者数は年度総数を運行日数(364日、1月1日休航)で除して算出した。⑧木津川渡船場のみ362日(1月1日～3日休航)。

【図表1】現在運行中の渡船場



資料:大阪市建設局ホームページ

【図表3】大正区周辺の人口と民営事業所従業員数の推移

	人口		人口		民営事業所 従業員数		製造業 従業員数	
	総数 (人) 2005年	変化(%) 2000年～ 2005年	15～19歳 (人) 2005年	変化(%) 2000年～ 2005年	(人) 2004年	変化(%) 2001年～ 2004年	(人) 2004年	変化(%) 2001年～ 2004年
大正区	73558	-2.1	3659	-10.3	29215	-13.3	6835	-21.0
港区	83294	-4.6	3641	-13.4	39469	-14.6	5186	-14.7
西成区	118799	-3.7	3787	-13.9	42079	-8.2	8469	-14.6
住之江区	130130	-2.8	6912	-14.4	62198	-7.1	10293	-13.8

資料:国土地理協会『住民基本台帳人口要覧』、総務省『事業所・企業統計調査』より作成

### 大阪産業創造館までの時間距離

大正区役所からの所要時間

実際に計測。バス・地下鉄利用。バス・電車の待ち時間を含む。

約50分